



ねんせい ひろ ひろ わ  
<5年生から広がったごみ拾いの輪>

19日はPTAの会議でしたが、その時に保護者の方が「先週6年生がごみ拾いをしていて、感心しました。」と教えてくれました。それを聞いていた他の保護者の方々も「いいね、みそら小。本当にいいね!」と言いました。そばで話を聞いていた校長先生や教頭先生はとてもうれしくなりました。なぜなら、5年生が全校朝会で話したごみ問題を自分のこととして、きちんと話を聞いてくれていたこと、考えるだけでなく、行動に移していたことが何よりうれしかったからです。感激して泣きそうになりました。

そこで、6年生にインタビューしてみました。  
6年生「今までだったら、遊んでいてごみを拾おうなんて思いませんでした。全校朝会のごみのポイ捨ての話がきっかけで、拾うことにしました。見て見ぬふりをしてはいけない、ごみがないみそらにしたい、という気持ちになりました。ごみ袋は家から持ってきました。」と話してくれました。また、6年生の自学ノートには「小さいごみ袋5袋分になりました。正直、5年生の発表がなかったら、私はごみ拾いをしていませんでした。今の5年生に感謝しかありません。私たちががんばろうと思いました。」



か  
と書かれてい  
ました。  
じぶん  
自分たちで  
もんだいていき  
問題提起し、  
じぶん こう  
自分たちで行  
動を改める  
あらた  
ことができ  
る! 素晴らし  
いぞ! みそら  
しょう こども  
小の子供た  
ち!!

